

氏名・団体名 ●
その他・備考

送
り
先
●

電
話
()

『保育事故を繰り返さないために』を () 冊注文します
』を () 冊注文します

ご記入のうえ、著者が赤ちゃんの急死を考える会、あるいは最寄りの書店か、あけび書房へご注文下さい。

キリトリ線

武田さち子 [著]

赤ちゃんの急死を考える会 [企画・監修]

- 大宮 勇雄 (福島大学教授、全国保育団体連絡会会長)
- 榊毛富久美 (赤ちゃんの急死を考える会会長)
- 小山 義夫 (赤ちゃんの急死を考える会副会長)
- 高見澤昭治 (弁護士)
- 寺町 東子 (弁護士)

座談会



事例
満載

1章 大切な子どもの命を返してください

あまりに軽く扱われる幼い命/多発する保育施設での突然死/ずさんな保育の免罪符になっているSIDS/専門職による虐待/安全配慮義務が問われるとき/足りない保育施設、そして事件・事故の多発

2章 安全で安心な保育のために 大人たちがすべきこと

保護者がすべきこと/保育所がすべきこと/乳幼児の事故を予防する/虐待やいじめを発見する/行政がすべきこと

3章 不幸にして事件・事故が起きたとき

保育所がすべきこと/行政がすべきこと/保護者がすべきこと/事故調査委員会の是非について

4章 座談会 かけがえのない命のために

資料「赤ちゃんの急死を考える会」から各党への要請書

●本書「あとがき」より

無抵抗な子どもの命が理不尽な形で奪われている現状を一刻も早く改めなければなりません。この問題を社会的に明らかにし、保育に関わるすべての方々とともに子どもの人権擁護に向けた世論をつくるのが大切だと思っています。

今後なお一層の規制緩和、保育の市場化が予想される流れとなっていますが、政府・自治体のこれらの政策に抗しつつ、これ以上同じ犠牲者を絶対に増やすまいというのが、わが子を亡くした私たちの共通の願いです。……

保育事故を 繰り返さないために

かけがえのない幼い命のためにすべきこと



武田さち子 [著]
赤ちゃんの急死を考える会
[企画・監修]

- 大宮 勇雄 (福島大学教授、全国保育団体連絡会会長)
- 榊毛富久美 (赤ちゃんの急死を考える会会長)
- 小山 義夫 (赤ちゃんの急死を考える会副会長)
- 高見澤昭治 (弁護士)
- 寺町 東子 (弁護士)

座談会

事件・事故の数々から原因を究明し、対策を提示する
かけがえのない幼い命、それはだれもの宝物

願いを込めて わが子を亡くした親、法律専門家、保育関係者が
ともに考えあう、画期的な一冊です

あけび書房

A5判、144ページ 1470円 ISBN978-4-87154-094-0 C3036